

LIXIL 手すり照明 LEDユニット 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



ポイント

- 正しく施工,組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>



警告

- 器具を分解・改造したり、部品の交換をしないでください。火災・感電・落下によるケガのおそれがあります。



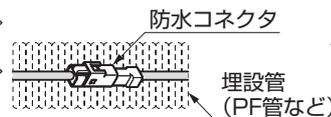
注意

- ボルト・ネジ類は弊社純正品の規定本数をガタつきゆるみがない様に確実に締め付け、固定してください。
- ガス機器やその排気筒などの温度が高くなるものの上部には取付けないでください。火災のおそれがあります。



ポイント

- 防水コネクタを切除しないでください。故障や不点灯の原因になります。
- 埋設管(PF管など)内で結線しないでください。
結線部が腐食し点灯不良の原因になります。



防水コネクタ

防水コネクタ

埋設管
(PF管など)

<電気配線工事について>

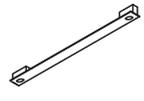


注意

- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電のおそれがあります。
- 別売りの当社製トランス電源ユニットと組合わせて使用してください。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。

■ 梱包明細書

① LEDユニット

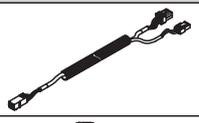
名称	略図	員数
LEDユニット		1
アクリルカバー		1
①-① φ4×25バインドタッピンネジ3種		2
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1

③ 電源ケーブル

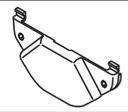
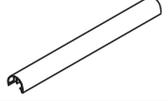
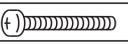
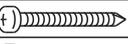
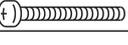
名称	略図	員数
電源ケーブル		1

④ 渡り配線ケーブル

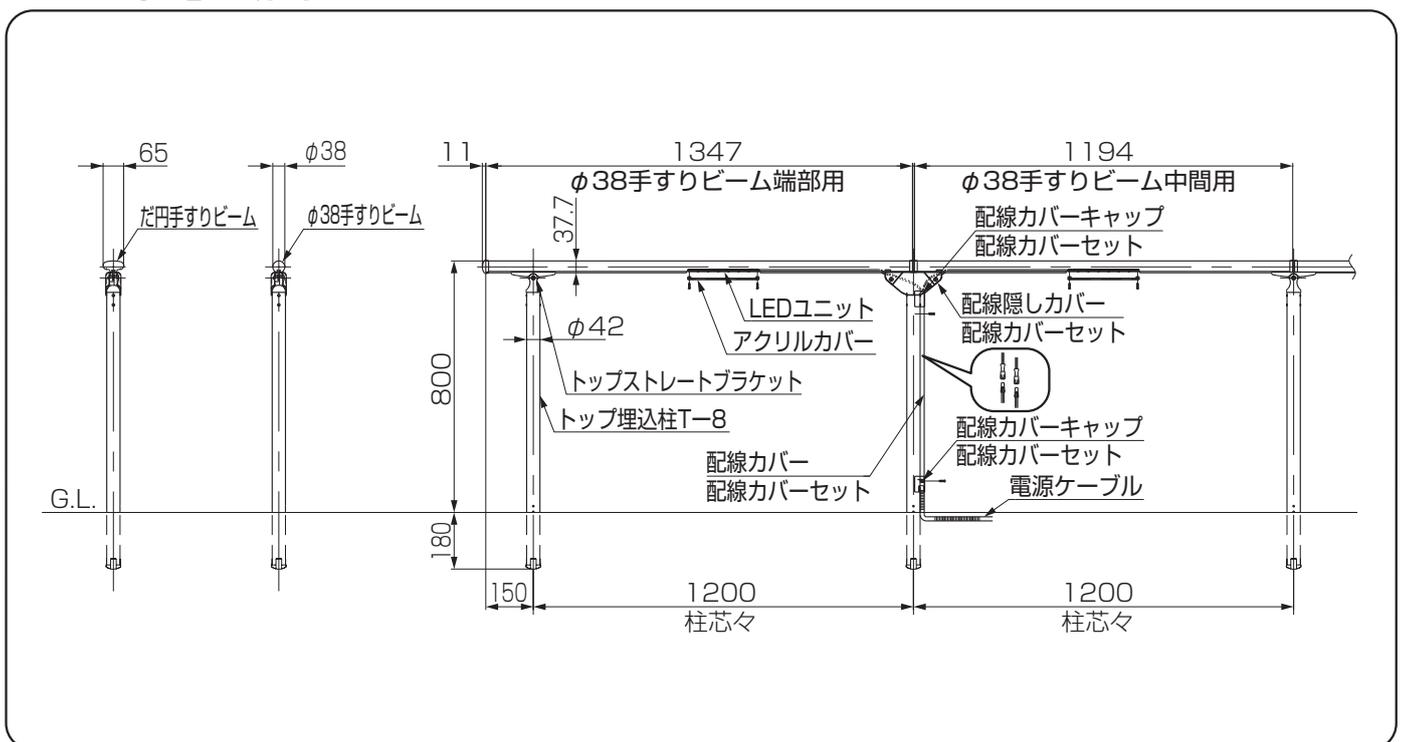
オプション

名称	略図	員数
渡り配線ケーブル		1
④-① M6×14六角孔付ボルト		2

② 柱用配線カバーセット

名称	略図	員数
配線隠しカバー		2
配線カバー		1
配線カバーキャップ		2
②-① M4×20ナベ小ネジ		2
②-② M4六角ナット		2
②-③ φ4×35ナベピアスネジ		2
②-④ M4×30トラス小ネジ		1

1. 基本寸法図



2. 配線方法

●埋設管は必要な長さで切り落とし、端部ブッシングを取付けまたはパテ埋めしてください。
※ブッシングとケーブルのすき間はビニルテープで防水処理をしてください。

- ①ケーブル径に合わせブッシングの先端を切断します。
- ②ブッシングの縦溝を切り込み、半割れにします。
- ③ブッシングをケーブルにはさみ、管に差し込みます。

ポイント

- 露出配線の場合はケーブルを地表に露出して配線してください。
- 埋込配線の場合はPF管により地中に埋設して配線してください。
- トランス電源ユニットの取付けについては、トランス電源ユニットに同梱されている取付説明書を参照してください。

3. LEDユニットの取付け

1 手すりビームのLEDユニット取付位置に、下孔φ3.5を開けてください。

2 手すりビーム端部からLEDユニットを差し込み、アクリルカバーといっしょにI-1で取付けてください。

ポイント

- 取付には電動ドライバー等を使用せず、ドライバーで手締めしてください。アクリルカバー、LEDユニットを破損する可能性があります。

4. 配線カバーの取付け

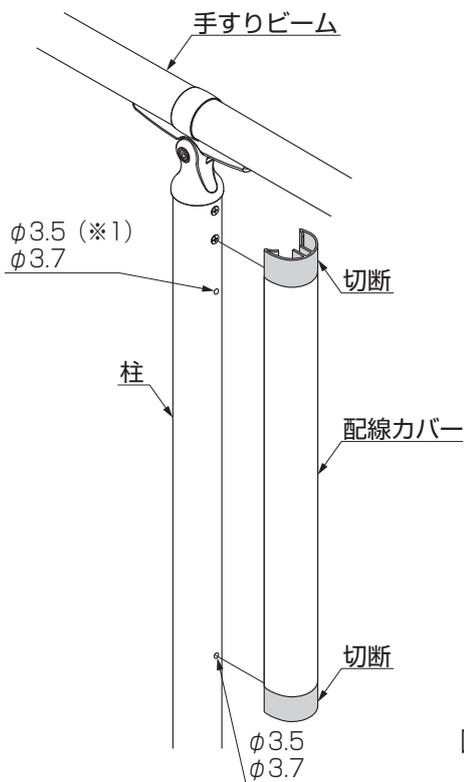
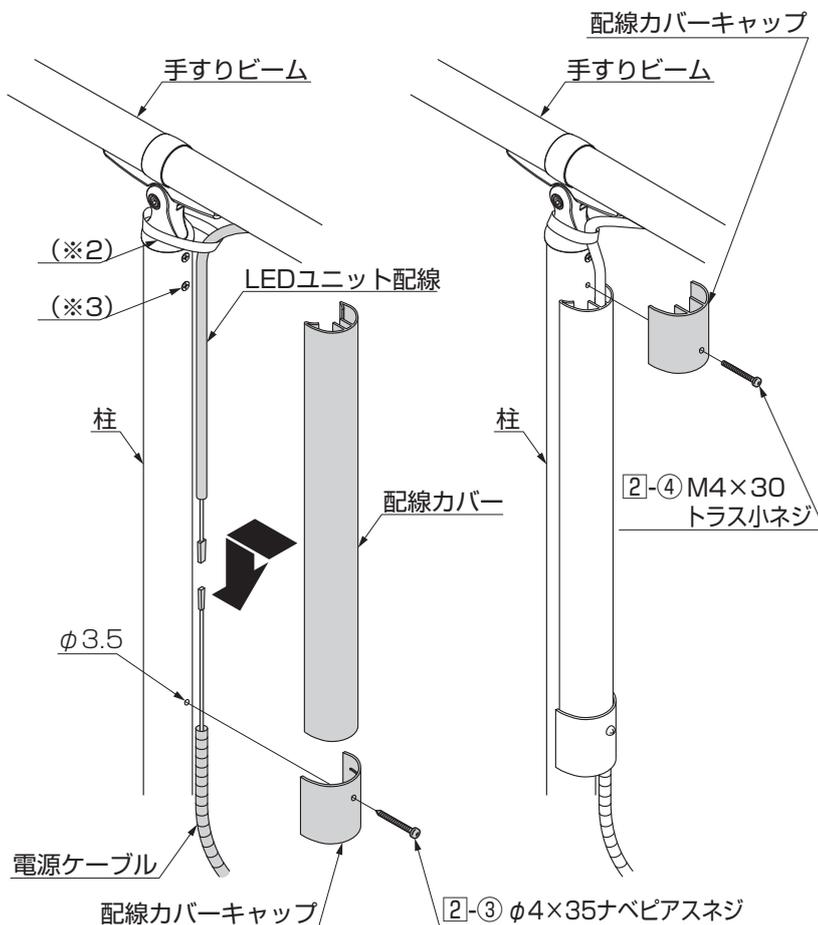
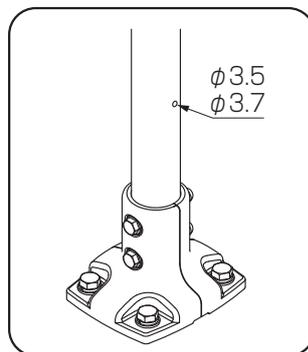


図4-1 ベースプレートを使用する場合

- 1 配線カバーを柱の長さにあわせて、切断してください。
- 2 配線カバーキャップを取り付ける位置に下孔をあけてください。

補足

- 下孔は柱がアルミだけの場合はφ3.5、補強用鉄芯が入っている場合（ロング柱）はφ3.7であけてください。
- ベースプレートがある場合は、ベースプレートの上に配線カバーキャップがくる位置に配線カバーの長さの下孔の位置を調整してください。
- フロントブラケットの場合は、下孔をあけてください。（※1）



- 3 配線カバーキャップを下側の柱に電源ケーブルを通して、②-③で取付けてください。
- 4 LEDユニットの配線と電源ケーブルをコネクタで結線してください。
- 5 配線カバーを取付けて、配線カバーキャップ上で押さえ込みながら、配線カバーキャップを上側の柱に②-④で取付けてください。

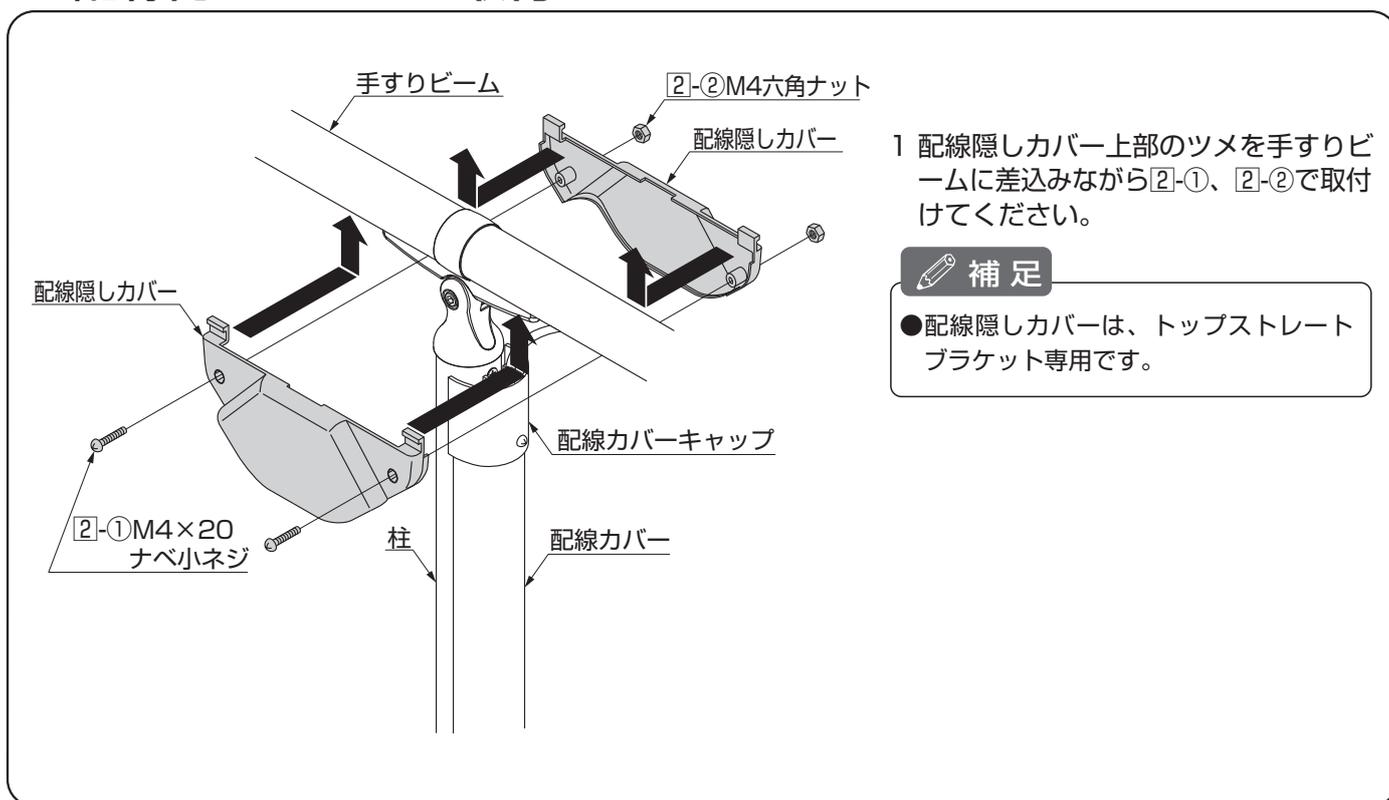
補足

- 配線カバーキャップの取付ネジは、トップストレートブラケット取付ネジ下（※3）を②-④と差替えてください。
- ブラケット部分の配線は、テープ、インシュロックなどで固定してください。（※2）

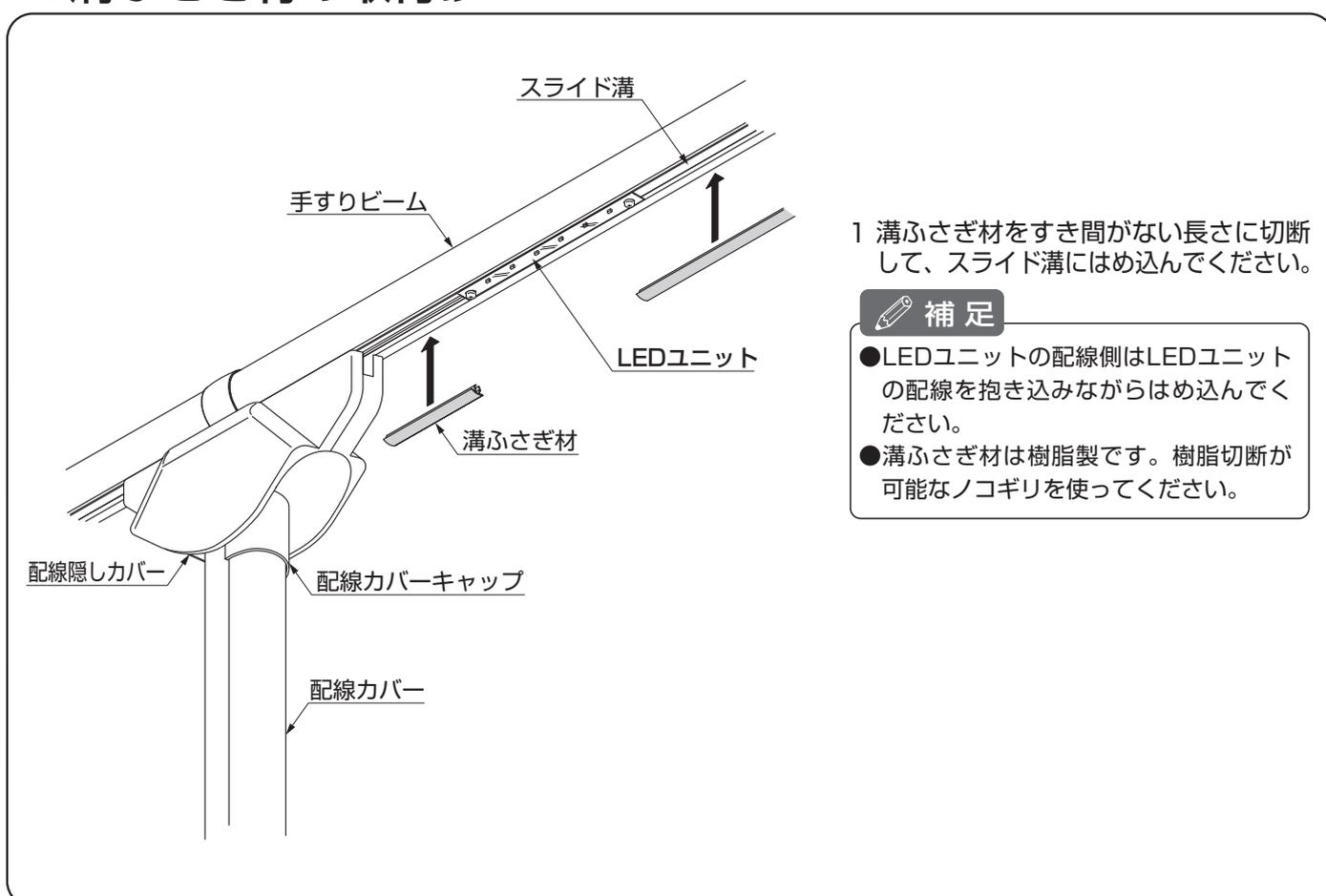
注意

- 電線のかみ込みに注意してください。感電、漏電のおそれがあります。

5. 配線隠しカバーの取付け



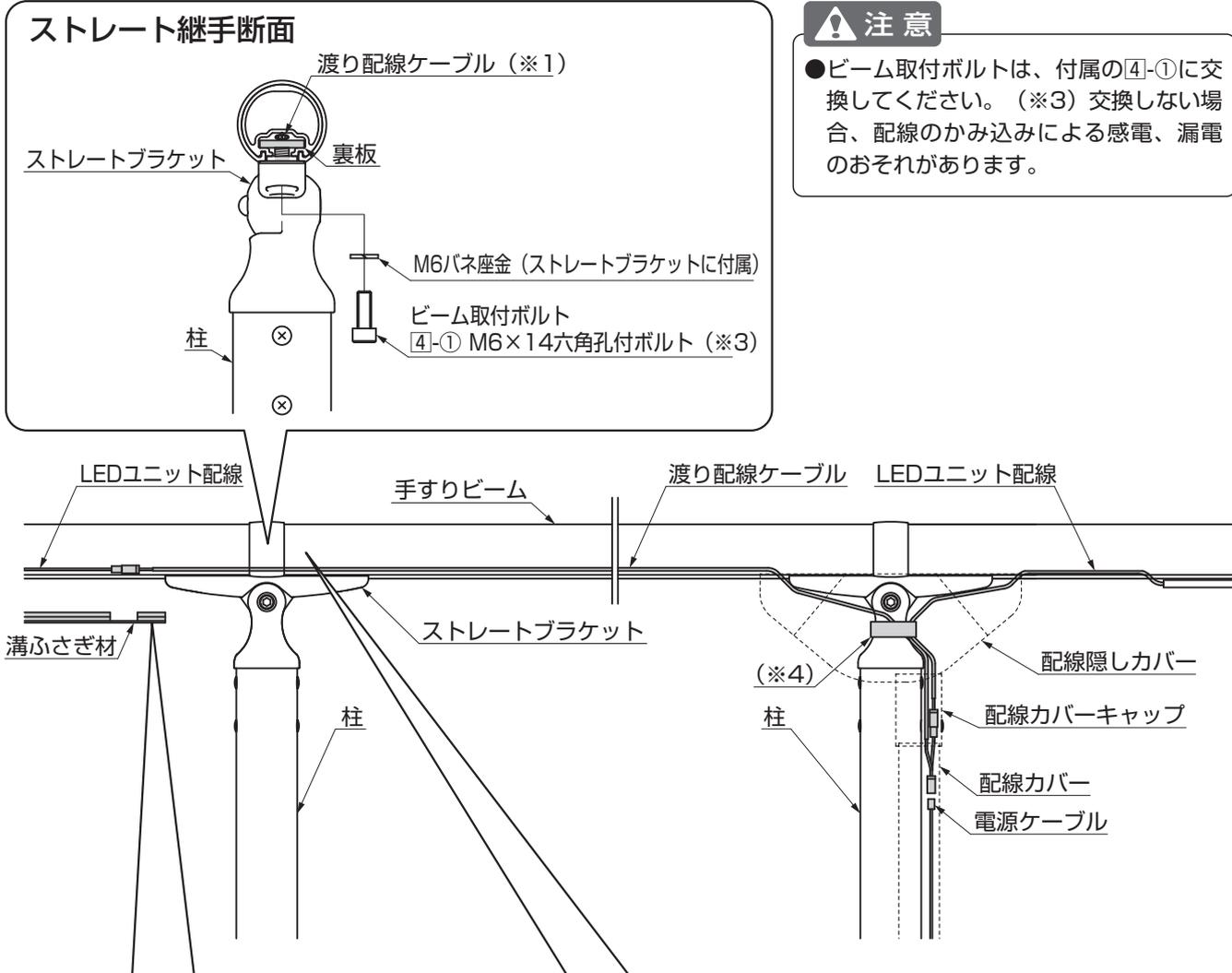
6. 溝ふさぎ材の取付け



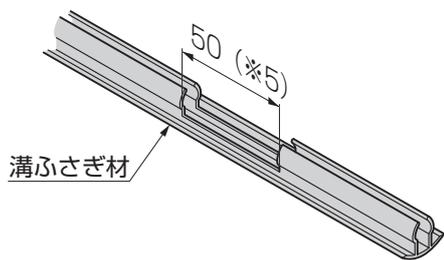
7. 渡り配線の取付け

⚠ 注意

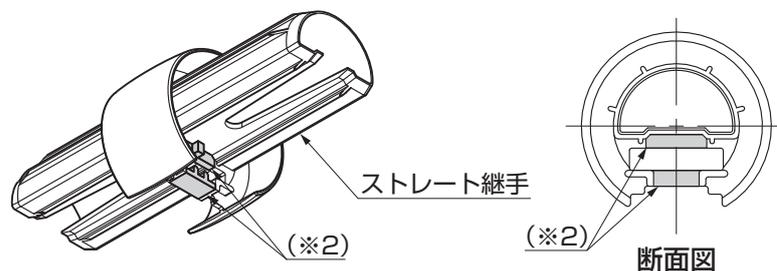
- ビーム取付ボルトは、付属の④-①に交換してください。(※3) 交換しない場合、配線のかみ込みによる感電、漏電のおそれがあります。



コネクター接続部分の追加工



ストレート継手の追加工 (渡り配線ケーブル通過の場合)



1 図のように配線してください。

🔑 ポイント

- 渡り配線ケーブルをストレートブラケットに通す場合は、裏板の上に通してください。(※1)
- ストレート継手の下部をニッパー、カッター等でカットして配線を通してください。(※2)
- ブラケット部分の配線は、テープ、インシュロックなどで固定してください。(※4)

🔧 補足

- コネクターを接続する場所は、溝ふさぎ材をカッター等で50mm切りかいてください。(※5)

7. つづき

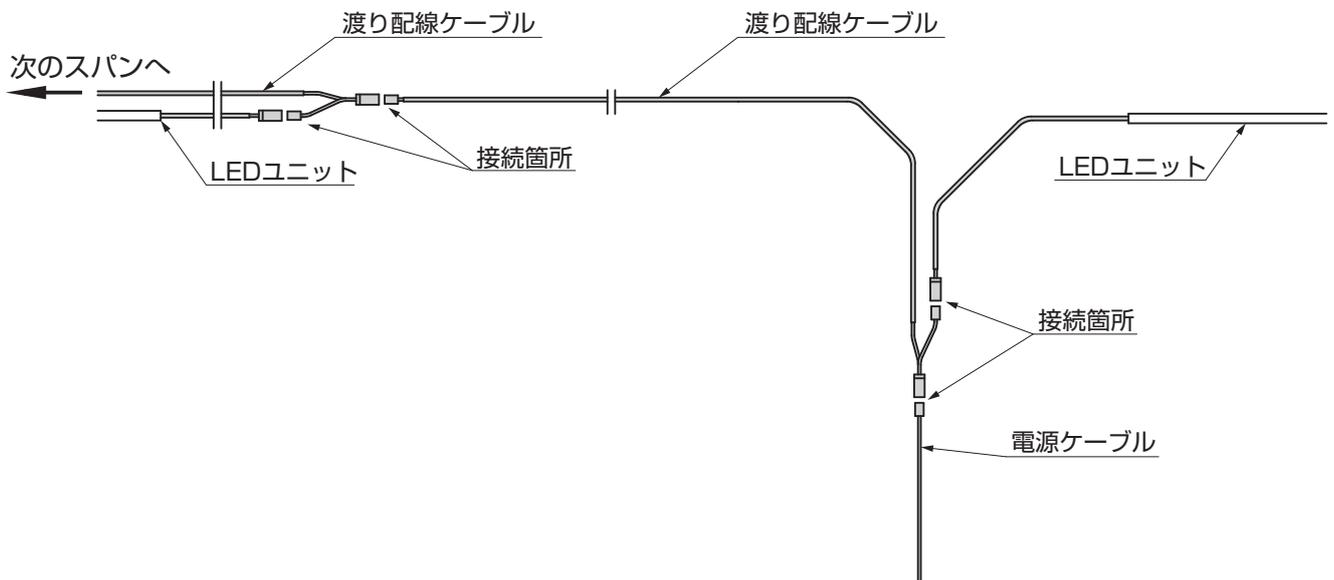


図7-1 LEDユニットの連結方法

⚠ 注意

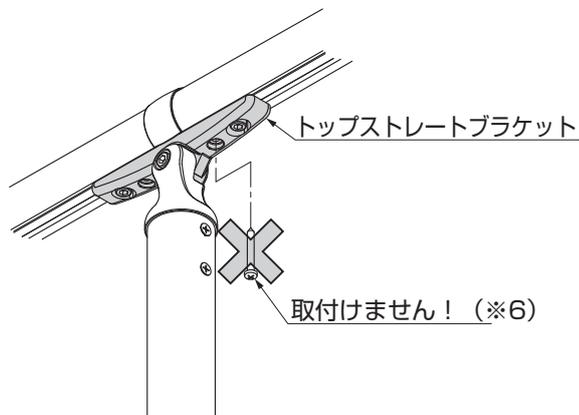


図7-2 グリップライン取付説明書（取説コード C310）P21

- 渡り配線が通過するストレートブラケットは、グリップライン取付説明書（取説コードC310）P21の「3.手すりビームの抜け止め防止」で使用している $\phi 4 \times 35$ ナベテックスネジ（※6）を取外してください。取付けた場合配線のかみ込みによる感電、漏電のおそれがあります。（図7-2参照）

✎ 補足

- 渡り配線ケーブル1本につき、LEDユニット1台の増設が可能です。渡り配線ケーブルをつぎ足すことでLEDユニットを複数増やすことができます。（図7-1参照）
- 渡り配線ケーブルを複数連結した場合、連結数が増えるほど、電圧降下のため明るさが若干低下します。
- 最大接続可能数は、電源ケーブル1本あたり10台です。電源ケーブルはトランス電源ユニット1台あたり4本/35W、8本/60Wまで使用可能です。（合計40台/35W、80台/60W）

取説コード

C329

JZZ620515D
200503A_1001
202505F_1049